

令和 2年度 第3回 地域密着型運営推進会議録

事業者名 住所	社会福祉法人 砂川福祉会 砂川市西3条南10丁目3番1号	
事業所名 住所 サービス種類	地域密着型特別養護老人ホーム福寿園(サテライト型)・在宅老人デイサービスセンター(地域密着型) 砂川市三砂町55番地6号 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・地域密着型通所介護	
開催日時 開催場所	令和 2年 8月19日 17:30~18:15 在宅老人デイサービスセンター(地域密着型)	
出席者内訳	事業者: 小澤 敏博(施設長) 梶 信子(主任生活相談員)	北谷 将文(相談支援係長) 古舘 輝一(相談支援主任)
	利用者・家族: 1名	
	地域代表: 1名(三砂町内会 会長)	1名(元砂川地区広域消防組合消防長)
	市・包括職員: 2名(砂川市役所 高齢者支援係職員)	1名(地域包括支援センター)
	見識者・その他: 0名	
議題・課題	1、地域密着型利用状況報告 2、施設活動報告 3、洪水時の避難確保計画について 4、その他のご意見・ご要望について	
報告事項	1、地域密着型利用状況報告(別紙参照) 2、施設活動報告(スライド参照) 3、洪水時の避難確保計画について(別紙参照)	
評価(感想等)	利用者・家族:入所、通所サービス共に利用させていただいている者です。コロナ禍でも介護サービスを継続させていただいて、大変ありがたく思っています。ありがとうございます。	
要望、意見及び助言等	地域代表:(洪水時の避難確保計画についての報告を受けて)災害時の避難のタイミングは難しい。計画書には洪水警報が出て避難となつてはいるが、夜間に警報が出た場合は人員も少ないし、一斉に避難することは難しい。なので、明るい昼間のうちに、早め早めの避難が大切になると思います。	
	市・包括職員:(デイサービスの利用状況報告を受けて)コロナ禍の中、他事業所の介護サービス等の利用率が低下した傾向にありましたが、福寿園さんのデイサービスではどうでしたでしょうか?2月から現在と比べて変化はありましたか? 事業者返答:コロナウイルスが蔓延し始めたころは、利用者皆さんが警戒し自粛されて利用率が下がりましたが、時間が経つにつれて、家族さんの負担の増加や外出不足等の問題が出はじめ利用率は徐々に回復していききました。別の理由で、施設への入所、長期入院、利用終了等はありませんでしたが、現在はほぼもとに戻りました。 事業者:新たな課題として、このコロナ禍のなか通所サービスを利用して頂いてありがたいところですが、通所サービスを利用する上で、利用される方が感染地域に行かれたあとのサービス利用をどのように取り扱っていくかということに悩んでいます。	
	市・包括職員:(新型コロナウイルス感染症に伴う特例取扱いについての報告を受けて)この取扱いは要支援の人は対象外となつていましたが、要支援の利用者さんから、「説明を受けていない」「私の利用料金も上がっている」などの問い合わせがありました。福寿園さんでも説明はしていますが、どのような説明をしたかお聞きしたい。 事業者返答:要介護者の方と要支援者の方と一緒に説明をすると混乱すると思い、要介護者の方には個別での説明やご家族を通して説明させていただきました。もし誤解されている方がいるとすれば、要介護者の方との交流の中で話題になり、自分も料金が上がったと勘違いをされたのかもしれませんが。 市・包括職員:(洪水時の避難確保計画についての報告を受けて)計画書の中にある避難確保資器材等一覧の備品はまだ揃っていないと説明されていましたが、具体的にいつ頃揃う予定でしょうか? 事業者返答:具体的にと言われると明確な回答はできませんが、出来るだけ早急に揃えて行きたいと考えています。	
その他必要な事項		